

皆さん、おはようございます。

この度、富加町長に就任いたしました渡邊圭太です。

無投票当選ということでしたので、町民の皆さまから信託を頂いた・・・とは正直言えないかもしれませんが、私自身、無投票であれ、これから富加町のために尽くすという意味では何も変わらない！と思っています。これからの4年間、職員の皆さんの支えもいただきながら、町政運営に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

富加町には多くの魅力があるのと同時に、まだまだ可能性に満ち溢れている、と感じています。その可能性を開花させ、幸せを感じられるまちを、住民の皆さん、職員の皆さんとともにつくっていきたい、そういった思いを持って、今この場に立っています。

本日は、私が町政運営を担うに当たって、職員の皆さんに求めること、そして、当面の予算・組織人事・政策についてお話をさせていただきます。

## 1 職員の皆さんに求めること

私から皆さんに求めること、お願いしたいことは3点です。

1点目は、「町民に寄り添う」という姿勢です。

常に「町民の生活をどのように改善できるか」という視点を持ち、行動してください。役場職員の皆さんは町行政の最前線で活躍しています。町民の方々の悩みや望みを正確に把握し、それに適した住民サービスを充実させることが重要となります。また、町民の本音を理解するためには、町民と積極的に関わり、ときには難しい意見であっても真摯に受け止める姿勢を忘れないでください。町長が代わったことで「富加町の何が変わったか」をすぐに実感できることの 하나가、役場職員の皆さんの町民への接し方だと思います。来庁者への挨拶・お声がけなど、「役場が町民の方を見ている」ことを実感できる行動を望みます。

2点目は、「よく考えて、前向きな挑戦をすること」です。何も考えず、「前例がこうだから同じようにしておけば良い」はやめましょう。9年間議員として役場職員の方と接して感じていたことは、前例踏襲になりやすい傾向があるということです。前例を踏襲することは必ずしも悪いわけではありません。しっかりと自分なりに検討を深め、結果として前例と同じ結論になることは何ら非難されるべきことで

はないと思います。ダメのことは、何も考えず、ただ、前から行って来た作業を繰り返すことです。仕事をしていく中での一つの目標は前任者を超えることです。現状維持は衰退であり、住民に対する裏切りであります。失敗しても結構です、新たな方法を模索し次に繋げるならば、トライ&エラーが機能しているということでもあり、問題はないと考えます。もし責任を問われたならば、責任は私がとります。それが町長の仕事だと思っています。職員の皆さんの前向きな挑戦を大いに期待します。

3点目は、「あらゆることを自分ごととしてとらえ、全体が最適となるよう行動すること」です。

施設のことは総務課だけが、財政のことは企画課だけが考えればよいわけではありません。「全体が最適」とは「住民の幸福度の最大化」であり、自分の課のことだけを考えて行動することは、さけて頂きたいと思います。そういった行動は「住民の幸福度を押し下げてしまうこと」に繋がる、と皆さんも、そう考え頂きたいと思います。

以上3点が、皆さんへ求めること、皆さんへのお願いであります。

## 2 当面の町政運営の方向性（予算、組織人事、政策）

続いて、当面の町政運営の方向性について申し上げます。

まずは予算につきましては、令和 6 年度当初予算は現在編成されている骨格予算を前提に進めていきますが、今後、可能な限りの見直しを行いたいと思います。そして、今後の事業については、政策の方向性を踏まえて補正予算において順次事業化してまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

次に、組織人事につきましては、今現在変更することは考えておりません。しかし今後は、現在の組織のスリム化・重点化を行うとともに、多様性を重視した人事を行いたいと思います。

そして、政策に関しましては、今回の選挙において、6 つの柱を示してまいりました。

「子育て支援、教育の充実」・「高齢者福祉の充実」・「災害に強いまちづくり」・「対話を重視した政策決定」・「産業の活性化」・「文化を活かしたまちづくり」です。具体的な政策の検討については別途指示しますが、まずは、行財政改革を強力に推進し、持続可能なまちづくりをこれまで以上に進めていかななくてはなりません。その上で政策を通じて、安心安全な魅力ある富加町を、住民の皆さん、職員の皆さんとともにつくってまいりたいと考えております。

### 3 最後に

最後に、町長訓示ということで、小難しいことを述べてしまいましたが、楽しく、面白くやりましょう。その気持ちを持っているだけでも皆さんの毎日の過ごし方が変わってくるはずですし、それは町民の皆さんにも伝わるはずです。

この素晴らしい富加町が、より幸せを感じられるまちに、そして住んでいてよかったと住民の皆さんに思っていただけるまちになるよう、我々は全力で取り組まなければなりません。一人一人の思いが形になる、未来へ繋がるまちづくりを目指していきます。

今日がその始まりの日であります。

本日こうしてお話しをさせていただいたこと、これを第一歩としながら、これから4年間、職員の皆さんとしっかりと意見交換をす  
る中で、未来に向かって20年後、50年後、さらには100年後の富加町の礎を築けるよう、一步ずつ着実に歩んでいきたいと考えていますので、どうぞ、よろしくお願ひします。

以上